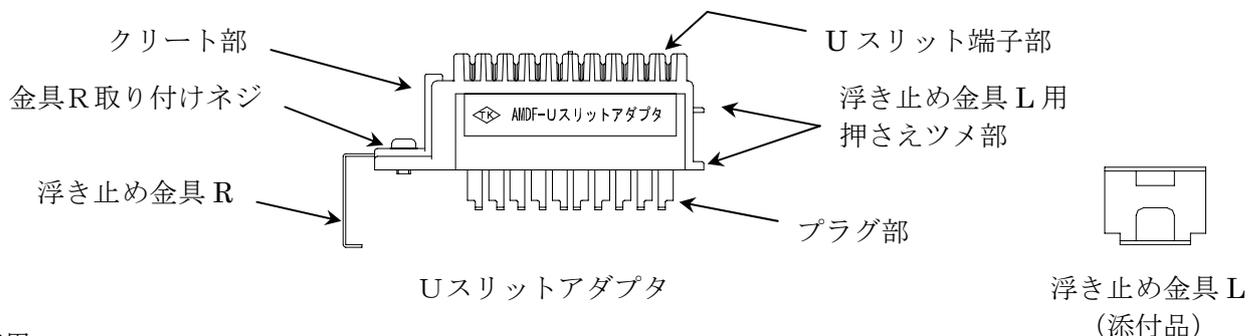


1. 構成

品名	数量	用途
AMDF-U スリットアダプタ	1	10 回線、無瞬断・浮き防止機能付き
浮き止め金具 L (添付品)	1	浮き防止用
M2.6-8 ネジ (添付品)	1	マウンティング、浮き止め金具 L の共締め用



2. 適用

本 AMDF-U スリットアダプタは下記に適用します。

◇自動MD F 用線路成端モジュール(AMDF-M-<>)

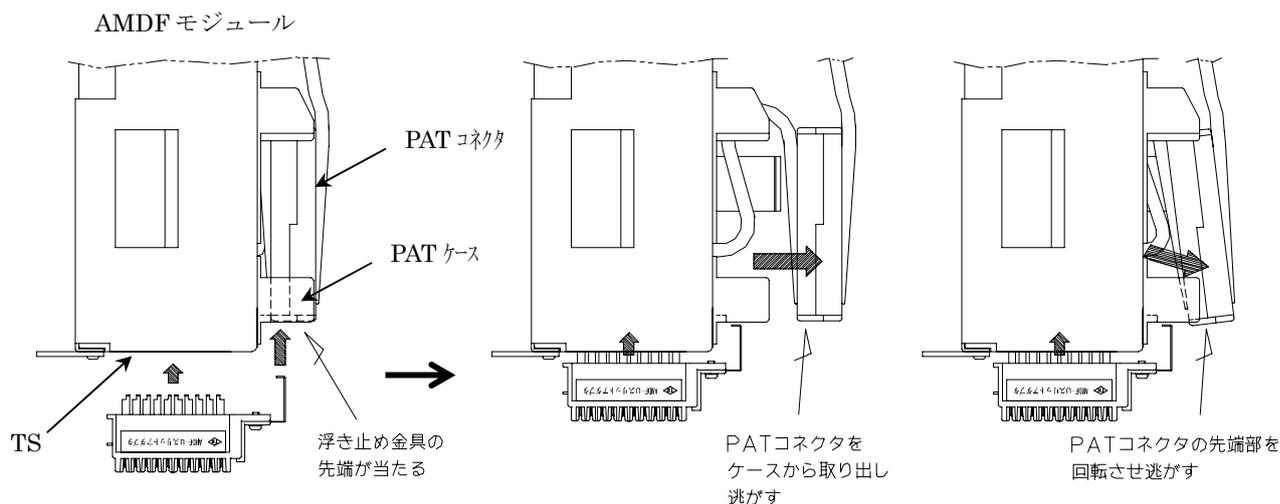
◇自動MD F 用線路成端保安器モジュール (AMDF-ARR<>)

モジュール前面の TS (試験弾器) に装着する 10 回線用の無瞬断、マルチ接続の浮き防止機能付き U スリットアダプタです。

3. 装着方法

- (1) 装着前に装着するサブモジュールの PAT コネクタを PAT ケースから取り出し外す、または、PAT コネクタの先端部を逃がし、浮き止め金具 R が当たらないようにして下さい。

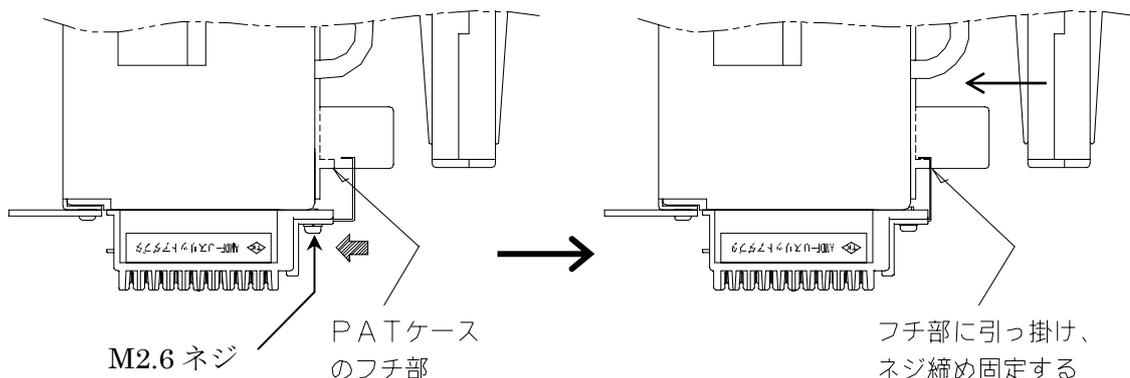
注意！
必ず、この PAT コネクタ逃がし処置を行って下さい。
この逃がし処置を行わないで U スリットアダプタを装着すると破損します。



- (2) モジュール前面の TS (試験弾器) に装着して下さい。
装着は極力、弾器窓に平行に、直角になるように、止まるまで押し込んで下さい。
U スリットアダプタは回線が無瞬断でマルチ接続できる無瞬断機能付きです。

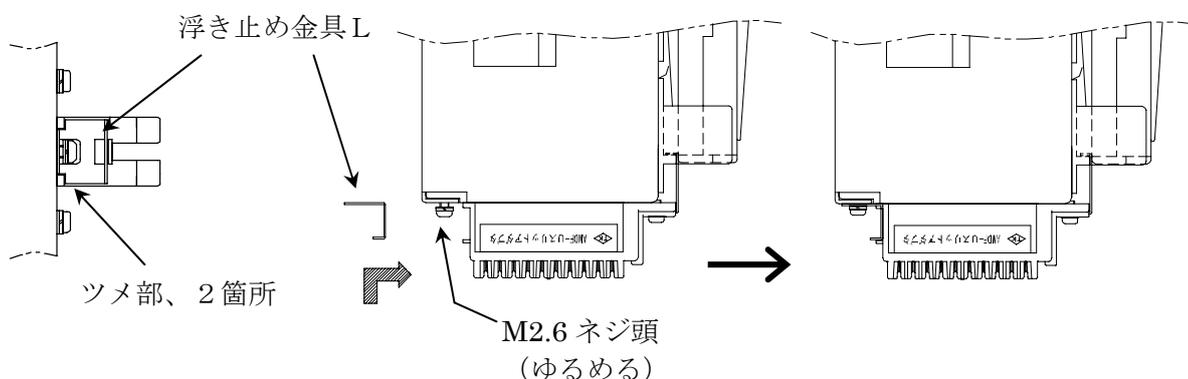
注意！
極端に斜め（左右、上下方向）に装着を行ったり、無理な装着は、回線の断線や U スリットアダプタを破損します。

- (3) Uスリットアダプタの M2.6 ネジをゆるめ、浮き止め金具Lを左側にスライドさせ、金具Rの先端部を PAT ケースのフチ部分に引っ掛け、金具Rをネジ締め固定して浮き防止処置を行って下さい。
処置後に PAT コネクタは元の PAT ケースに戻して下さい。



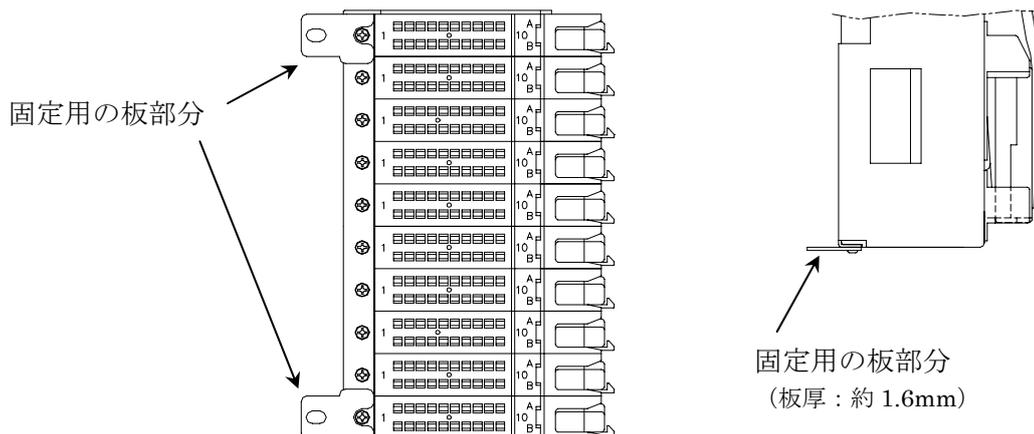
- (4) 次に、Uスリットアダプタの左側の浮き防止処置を行います。

- ① サブモジュールを固定している M2.6 ネジを 3 回転ほどゆるめて下さい。
ネジをゆるめるとサブモジュールは後に動くので、前の位置まで戻して下さい。
※ M2.6 ネジは取り外さないで作業できます。
また、M2.6 ネジは添付品の長い M2.6 ネジに交換して、使用できます。
- ② 浮き止め金具L (添付品) の長穴面をモジュールのマウンティング面に押し当て、右方向にスライドし M2.6 ネジのネジ頭を通過させて、Uスリットアダプタ端面の上下 2 箇所ツメ部を押さえて下さい。
M2.6 ネジでマウンティングと金具Lを共締め固定し、浮き防止処置を行って下さい。

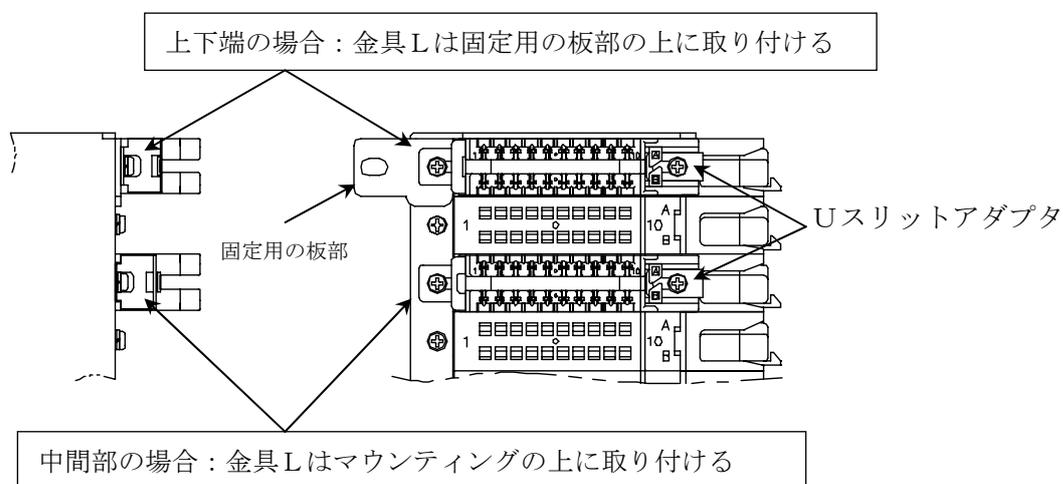
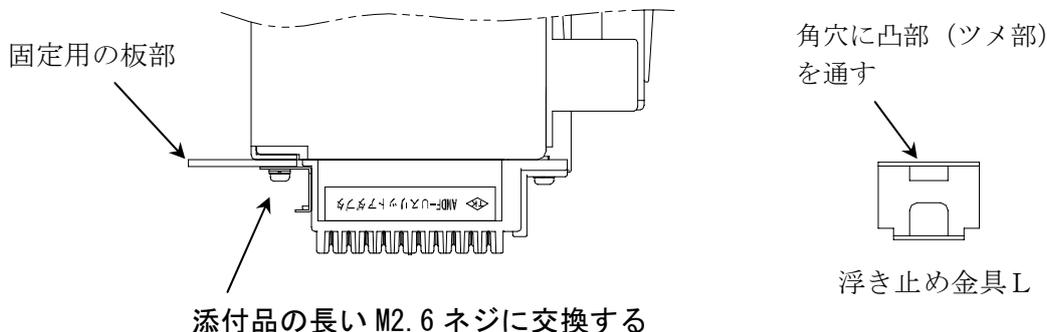


モジュール上下端のサブモジュールの浮き防止処置方法について

自動MD F用線路成端モジュールのマウンティングは、上下端の2箇所固定用の板部分があるため、その板厚の分だけ浮き止め金具Lの固定方法が異なります。



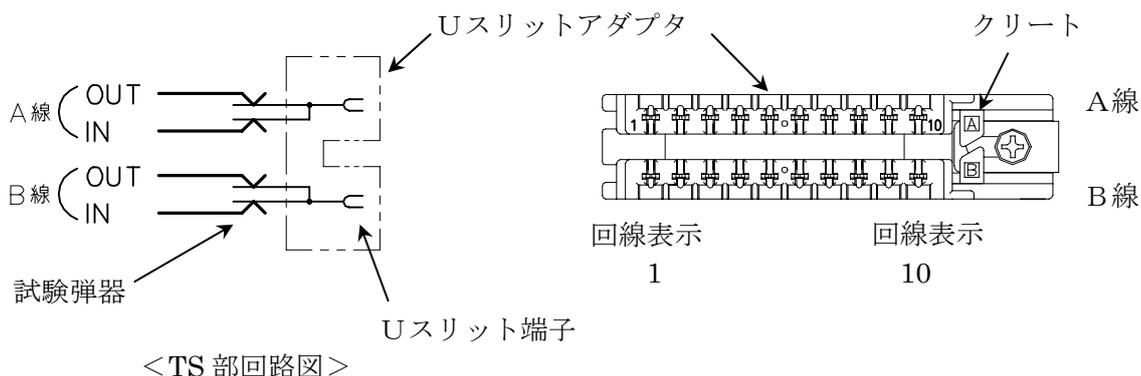
- ① 既設の M2.6 ネジは取り外し、添付品の M2.6-8 ネジ（既設ネジより 2mm 長い）に、必ず、交換して下さい。
- ② 浮き止め金具 L は、U スリットアダプタ端面の中央部にある 1 箇所の凸部（ツメ部）を角穴に通しツメ部を押さえて下さい。
M2.6 ネジでマウンティングの固定用の板部分と、金具 L を共締め固定し、浮き防止処置を行って下さい。



注意！
 モジュール上下端の固定用の板部分（2 箇所）に取り付けを行う際は、必ず、M2.6 ネジを添付品の長い M2.6 ネジに交換して下さい。
 既設の M2.6 ネジをそのまま使用すると、固定用板の板厚分、ねじの掛かりが極端に少なくなり、この後のジャンパ線の結線作業等の際、ネジが外れる、または、破損するなどの不具合が生じます。

4. ジャンパの結線方法

- (1) ジャンパ線は U スリットアダプタのクリートを通して布線して下さい。
- (2) 布線は TS（試験弾器）と同じになります。
ジャンパ線はマルチ接続になります。



- (3) Uスリット端子の溝部に通したジャンパ線は、Uスリット結線工具A (UCT-A コウグ) を使用して、Uスリット端子へ被覆ごと圧入接続されます。
- (4) また、ジャンパ線の余長は、接続と同時にカットされます。
- (5) Uスリット端子は、1端子に1スリット (シングル接続) が設けてあり、1スリットに1本の接続に限ります。

注意！

1スリットに2本付けすることは、絶対に行わないで下さい。
また、線なし状態での結線工具の使用 (空打ち) は行わないで下さい。
結線工具は、まっすぐに押し込んで下さい。
斜めに押し込むと結線不良、及び破損の原因となります。

- (6) 布線したジャンパ線は、Uスリットアダプタに大きな負荷がかからないように整線して下さい。
Uスリットアダプタに過大な力を加えると、回線の断線など接続不良、及び破損などの重大な不具合発生の原因となります。

5. 取り扱い

プラグ部先端は非常に細く破損しやすいので、この部分を硬い物に強くぶついたり、捻ったりしないようにして下さい。
また、Uスリットアダプタを落下させるとプラグ部の破損や金具が変形しますので取り扱いに注意して下さい。

注意！

浮き止め金具RをPAT ケースのフチ部に引っ掛けて浮き防止処置を行いますが、初期のPAT ケースには、そのフチ部の板厚が1mm (1.5mm 薄い) のものがあり、普通の処置ではガタつきが大きく浮き防止処置ができません。

対応方法

1.5mm 厚のスペーサを金具Rの下に入れる、及び1mm長いM2.6×6ネジに交換する、ことで対応できます。
その際は、スペーサ、ネジを準備致しますのでご用命下さい。

■ 製品のお問い合わせ ■

東京通信機工業株式会社

東京：開発・販売推進部 〒108-0074 東京都港区高輪 3-8-13

TEL：03-3447-2421

FAX：03-3447-0426

大阪：大阪営業所

TEL：06-4805-6580

FAX：06-4805-6585

メールでのお問い合わせ：sales@totsuki.co.jp

URL：<http://www.totsuki.co.jp>